

令和6年度

学校関係者評価報告書

令和7年 3月31日

学校法人 東洋学園

専門学校 東洋公衆衛生学院

学校関係者評価委員会

はじめに、専門学校東洋公衆衛生学院では、学則及び自己点検・評価規程に拠り、自己点検及び学校自己評価を実施し、令和6年度学校自己評価報告書として取りまとめました。

以上を基に学校関係者評価委員による学校関係者評価を実施したので、その結果を報告します。

I 教育理念・教育目標

- ・ 教育理念及び教育目標は明文化され、内容も具体的であることから、教育方針が明確に示されている点は評価できる。また、入学前教育や新入生ガイダンスに加え、学生便覧や Web サイト等を活用し周知を図っている点も適切である。

II 学校運営

- ・ 年間スケジュールに基づき、事業計画を着実に実施している点は評価できる。また、法人としての意思決定体制や業務運営の仕組みが整備されており、就業規則や諸規程も状況に応じて適切に改正されている。

III 教育活動

- ・ Google Workspace を活用した授業評価アンケートの実施やポータルサイトの構築により、学修支援体制が整備され、学生の自主学習の促進や教職員間の情報共有が進んでいる点が評価できる。また、公開授業、教員研修、オンライン授業など、教育の質向上に向けた積極的な取り組みも見られる。

IV 学修成果

- ・ 履歴書・面接指導や求人情報の迅速な提供、補講や資格試験対策など、学生の就職支援と学修支援が一層強化されており、特に担当職員の増員やポータルサイトの活用による情報提供体制の整備は評価できる。一方で、内定の早期獲得や退学防止に向けた取り組みについては、全学的な体制強化が今後の課題である。

V 学生支援

- ・ 学生支援室の環境整備や多様なサービスの提供、奨学金や学納金への柔軟な対応、保護者との連携強化など、きめ細やかな学生支援体制が整えられており、高く評価できる。今後はキャリア支援のさらなる充実や、卒業後も見据えた支援体制の強化が求められる。

VI 教育環境

- ・ 増築棟建設工事の開始、防災設備の整備・点検や照明の LED 化など、教育環境と安全性の向上に向けた取り組みが着実に進められており評価できる。今後は、増築棟の完成を見据えた最新設備の導入と、防災訓練の継続的な実施が期待される。

VII 学生募集と受け入れ

- ・ 募集活動や入試選考、入学前教育は適正に実施されており、特に Google Workspace を活用した入学予定者への情報提供と支援体制の整備が評価できる。また、少子化や大学の新設への対応として、SNS を活用した広報活動を強化している点も有効であり、今後の成果が期待される。

VIII 財務

- ・健全に進められており、特に問題はない。

IX 法令等の遵守

- ・個人情報について管理上の取扱に配慮しており、特に問題はない。

X 社会貢献

- ・国立科学博物館との連携や親子科学教室の開催などを通じて、学生の科学リテラシー向上と地域貢献の両立が図られており、継続的な取り組みとして評価できる。